President's Message

CSR レポート 社長メッセージ

電力の安定供給は私たちの果たすべき社会的責任の原点です

私たち沖縄電力は、沖縄の重要なライフラインを担う電気事業者として、お客さまの暮らしや経済活動を支えていく上で必要不可欠な電気を安定的に供給することを基本的使命に、事業活動に取り組んでおります。

当社は、東西1,000km、南北400kmにおよぶ沖縄県全域を供給区域としており、電力の安定供給を図るため、これまで発電所の建設、送電線路の2ルート化や送配電設備の自動化など、電源開発・設備構築を行ってまいりました。日々の業務においても、365日24時間の給電監視、巡視活動などを通して安定供給に努めております。

また、台風による長時間停電の解消に向け過去の台風被害分析を踏まえた配電設備の強化、地震・津波等の自然災害に強い設備形成、被災時における迅速な復旧に向けた盤石な体制の構築に取り組んでおります。

電気事業を取り巻く経営環境は、電力システム改革を契機に厳しさとスピード感を伴って変化しております。沖縄県内においても新電力の参入などにより、競争環境は一層厳しさを増すものと考えておりますが、安定供給に対する責任や、これまで築いてきたお客さまとの信頼関係、管内の状況を把握した事業者としての専門性、公益的課題への対処など当社でなくてはできないことがあります。

地場の企業として、成熟させてきた当社グループの強みを最大限に活かし、「いかなる経営環境下においても、引き続きお客さまに選択される企業グループ」を基本姿勢に、中長期成長戦略を着実に推進し、様々な経営課題の解決や財務目標の達成に向け取り組んでおります。

今回のCSRレポートでは、特集として「ご家庭向け新電気料金メニューの提供」を掲載しており、お客さまへの低廉な電気の供給および料金メニューの選択肢拡大に向けた取り組みを紹介しております。

これからも、基本的な使命である電力の安定供給を通して社会の発展に貢献することが社会的責任（CSR）の原点であることに変わりはありません。「エネルギーを通して沖縄の力となるために」という基本理念の実現に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

環境負荷低減に最大限取り組んでまいります

当社は地球環境に対し責任ある企業として、環境問題を経営の最重要課題の一つに位置付け、さまざまな環境活動を推進するため、「沖電グループ環境方針」を制定し、地球温暖化対策、地域環境保全、循環型社会形成などに向けた取り組みを行っております。

地球温暖化対策については、第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択された、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際枠組みである「パリ協定」を踏まえ、国においては、2030年の温室効果ガス削減目標（2013年度比26%減）の達成に向けた地球温暖化対策計画が平成28年5月に閣議決定されました。電気事業者においては、電気事業全体としてのCO_2排出抑制目標（2030年度に排出係数0.37kg-CO_2/kWh程度を目指す）の達成に向けて取り組んでいくこととしております。

沖縄においては地理的・地形的および電力需要規模の制約などから、水力・原子力発電の開発が困難であり、電力のエネルギー源を石油や石炭などの化石燃料に頼らざるを得ない状況ですが、CO_2排出量の少ないLNG（液化天然ガス）を燃料とする吉の浦火力発電所の着実な運用を通して、CO_2排出量の抑制に努めてまいります。併せて、木質バイオマスの混焼やメガソーラー、可倒式風車などの再生可能エネルギー発電設備の着実な運用など、当社が取り得る地球温暖化対策に最大限取り組んでまいります。

今後も、環境に関する法規制等の遵守はもとより、環境負荷低減に向けた取り組みや環境に配慮した活動を積極的に展開してまいります。

ステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築に努めます

沖縄県を唯一の供給区域とする当社は、地域の皆さまからのご理解・ご協力をいただきながら事業基盤となる供給設備を構築しているなど、他業種にも増して地域密着型の企業であり、創立以来、「地域とともに、地域のために」をコーポレートスローガンとして地域社会への貢献に積極的に取り組んでまいりました。

また、当社が掲げる沖電グループビジョンでは、沖電グループブランドを「お客さま・地域社会に『安全・安心』を提供し、その積み重ねの結果として得られる『信頼』」と定義付け、ステークホルダーの皆さま（お客さま、地域社会、株主・投資家、取引先、従業員）との信頼関係構築に努めております。

今年は民営会社移行後30年の節目の年であり、特集に「民営化30年のあゆみ」として、ダイジェストで振り返っております。当社は会社設立以来、様々な試練を乗り越えてまいりました。至近においては、電力需要の伸びの鈍化が見込まれる中、お客さまからの高度化・多様化するエネルギーニーズに対応するため、平成29年12月に「㈱リライアンスエナジー沖縄」を設立

し、お客さまに代わり熱源設備等を所有して、電気やガスとともに温水や蒸気等の供給を行う事業に取り組むなど、総合エネルギーサービスを積極的に展開しております。

競争の時代も自己変革の好機と捉え、総合エネルギー事業をコアとして、ビジネス・生活サポートを通した新しい価値を創造し、引き続きお客さまに選択される企業グループを目指してまいります。

これからも「法令遵守および企業倫理の徹底を基盤とした透明性のある分かりやすい経営」を実践し、双方向のコミュニケーションを通して、ステークホルダーの皆さまの声に真摯に耳を傾け、誠実にお応えするとともに、社会の持続的発展に貢献してまいります。

皆さまにおかれましては、本レポートを是非ご一読頂き、当社のCSRに対する基本的な考え方や取り組みへのご理解を賜りますとともに、忌憚のないご意見をお聞かせいただくことで、今後ともCSRへの取り組みをより一層充実させていきたいと考えております。

2018年7月

沖縄電力株式会社
代表取締役社長　大頭　満